

《 競技注意事項 》

1 競技規則について

本大会は、2023 年(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は「公開練習について」に従い実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、その他の会場については練習場系の指示に従うこと。特に投てき練習については監督またはコーチの付き添いのもと事故防止に努めること。

3 招集について

- (1) 競技者係は、スタンド裏・正面中央玄関右手に設ける。欠場届、多種目同時出場届、リレーオーダー用紙は競技者係に提出すること。
- (2) 招集所（最終点呼）は、スタンド裏のテント（競技者待機所）付近とする。
- (3) 競技者は、招集開始時刻から完了時刻までの間に待機し、最終点呼を受けること。
- (4) 競技者係に備えているものは、次の通りとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	競技者係	招集開始時刻まで
2	多種目同時出場届		第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙		各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前まで

- (5) 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・完了時刻は次の通りとする。詳細は競技日程を確認すること。

種目		予選		準決勝・決勝・決勝 TR	
		招集開始時刻	招集完了時刻	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		25 分前	15 分前	20 分前	15 分前
リレー競技		25 分前	20 分前		
フィールド競技	走高跳	45 分前	35 分前	30 分前	25 分前
	棒高跳	75 分前	65 分前	60 分前	50 分前
	走幅跳	55 分前	45 分前	30 分前	25 分前
	砲丸投	35 分前	25 分前	30 分前	25 分前

四種競技		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	ハードル・200m・400m	25 分前	15 分前
フィールド競技	走高跳・砲丸投	40 分前	30 分前

- (6) ミュージックプレーヤー・携帯電話・その他類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。【TR 6】
- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとして処理する。
- (8) 招集完了後、競技者待機所で待機し、勝手にその場を離れてはならない。移動等は、競技者係の指示に従うこと。
- (9) 代理人による招集の最終確認は認めない。2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、該当競技の最初の種目の招集開始時刻前までに多種目同時出場届に必要な事項を記入し、招集所（競技者係）に提出すること。
- (10) 2 種目同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、「パス扱い」となる。走高跳・棒高跳においては、事前に申告すれば「無効試技扱い」とみなす。
- (11) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所（競技者係）に提出すること。次のラウンドに進出したチームは、オーダー用紙を受け取りに来ること。
- (12) 混成競技（四種競技）の招集は、第1日目及び第2日目の最初の種目については、招集所で競技者係が確認するが、その日の2種目目は招集所で混成競技係のチェックを受け、移動する。

4 競技規則について

(1) トラック競技

- ① 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ② 【競技規則TR16.5.3】は本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- ③ 写真判定のため、腰ナンバーカードを使用するがリレーの場合は第4走者のみとする。
- ④ リレー競技のマーカースは、招集所で点呼の際に受け取る。使用は1カ所とし、使用したマーカースは競技終了後そのチームで処理すること。
- ⑤ 1500m決勝は18名で行う。

(2) フィールド競技

- ① 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従う。
- ② 競技者は審判員の許可を得ることなく、勝手に競技場所を離れることはできない。【競技規則TR25.19】
- ③ 競技者・監督・コーチといえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチング席（エリア）」を設ける。このエリアから監督・コーチのみが競技者への助言を行うことができる。競技者に対してビデオ等の映像を見せて助言することはできるが、如何なるものも手渡すことはできない。

(3) 競技用靴について

- ① スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。【TR5.3及びTR5.4】
- ② 靴底の最大の厚さについては、800m未満トラック競技は20mm、800m以上のトラック競技は25mm、フィールド競技は20mmまでとする。【競技規則TR5.2】

(4) アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは、縫い付けるか安全ピンで確実に止めること。（走高跳・棒高跳・走幅跳に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい。【競技規則TR5.7及びTR5.8】
- ② トラック競技の出場者は、出発係（現地）より腰ナンバーカード（シール式）を受け取り、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。シールを剥がしたゴミは、指定された（スタート地点）ゴミ袋に捨てること。使用後の腰ナンバーカードについては各自で持ち帰ること。【競技規則TR5.10】
- ③ 3000mの競技については、最終点呼時に競技者係から指定のアスリートビブス（黄色）・腰ナンバー（黄色）を受け取り、胸部・右腰に取り付ける。終わった後は、どちらも返却すること。

(5) 競技用具について

- ① 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外全て主催者が準備したものを使用しなければならない。
- ② 個人使用のポールは、検定を受け合格したもののみ使用できる。ポールの検定は棒高跳ピットで担当審判員が行う。

5 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールドの試技順は、プログラム記載に示された上から下への番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝のレーン順及びフィールド競技決勝の試技順は番組編成員で公平に抽選し、記録掲示板および大会HPに掲示する。
- (3) トラック競技において次のラウンド進出者を決めるにあたり、【競技規則TR21.1～5】を適用する。
- (4) 抽選が必要な場合は、当該競技者にアナウンスで連絡し、大会本部において当該競技者あるいは代理人による抽選を行う。尚、アナウンス後5分を経過しても当該競技者あるいは代理人がこなかった場合は、主催者が代行する。

(5) 決勝タイムレースは、1組目が予選のタイムの下位8名、2組目が予選のタイムの上位8名とする。競技結果については、1組と2組で総合順位を決定し、発表する。

6 走高跳・棒高跳について

(1) 予選のバーの上げ方は次の通りとする。

種目種別	練習	開始の高さ	2	3	4	5	6	7	8
男子 走高跳	1m55 1m80	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85 予選通過
女子 走高跳	1m35 1m55	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60 予選通過	
男子 棒高跳	2m50 3m00 3m50 4m00	2m60	20 cmずつ上げる		4m00 予選通過				

(2) 決勝のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは下表の上げ幅を変えてはならない。ただし、【競技規則 TR26.4.2】の場合は除く。

種目種別	練習	開始の高さ	2	3	4	5	6	7	
男子 走高跳	1m60 1m85	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85 全国標準記録	以降3 cm ずつ上げる
女子 走高跳	1m40 1m60	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60 全国標準記録	以降3 cm ずつ上げる	
男子 棒高跳	3m00 3m50 4m00	3m20	10 cmずつ 上げる	4m00 全国標準記録	以降5 cmず つ上げる				

(3) 混成競技

種目種別	練習			開始の高さ	
男子 走高跳	1m20	1m45	1m60	1m25 5 cmずつ上げる	1m50 以降3 cmずつ上げる
女子 走高跳	1m05	1m25	1m40	1m10 5 cmずつ上げる	1m25 以降3 cmずつ上げる

7 走幅跳・砲丸投について

(1) 予選通過記録は、下記の通りとする。

種目種別	男子	女子
走幅跳	6m55	5m45
砲丸投	13m00	12m50

8 結果発表と抗議について

(1) 各種目の結果発表は、アナウンス及び掲示板で行う。

(2) 発表された結果に対する抗議は、【競技規則 TR 8】によって定められた時間内（同一日の次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後15分、それ以外は30分）に各地区専門委員長（またはその代理の者）が総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。さらにこの裁定に不服の場合は、預託金（10,000円）を添えて、総務員を通じて「上訴申立書」で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終の決定となる。「上訴申立書」を本部に用意する。

9 競技場への入退場について

- (1) 競技者は、招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) トラック競技においてスタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。あらかじめ用意された袋に入れ指示された所定の場所に置き、競技（レース）終了後、競技役員の指示に従い、各自でスタート位置まで帰り、荷物を持って退場する。フィールド競技においてトップ8に残れなかった者は、競技役員の指示に従い最寄りのゲートより退場する。
- (3) 会場内（本競技場）への入退場及び場内ではIDカードを必ず着用すること（競技者は除く）。
- (4) 正面スタンド前（本部席前）は通行禁止とする。

10 表彰について

- (1) 各種目の優勝者と2・3位には賞状とメダル、4位から8位には賞状を授与する。入賞者は競技役員の指示により、主催者によって設けられた表彰場において受賞する。リレー優勝校には、終了式にて優勝杯も授与する。

11 テントの設置及びのぼりについて

- (1) テントを設置する場合は注意事項を守り、各校責任を持って取り扱うこと。
- (2) 各地区および各校のテントは、主催者側が示した場所への設置のみとする。地区中体連ごとに割り当てに従い、範囲内に設営すること。不足の場合は、競技場周辺の芝生部分に設営することも可とする。
- (3) 大会期間中のテントは、競技場内においては張りっ放しを認めるが飛ばない工夫をすること。ただし、競技場外は毎日撤去すること。（破損等には一切責任を問わないこと。テープでの場所取りは許可する）
- (4) 大会競技中及び期間中に強風などにより撤去をお願いすることもあるので、アナウンスの指示に従うこと。
- (5) のぼり旗の設置は、競技運営に支障のない範囲で可とする。

12 その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者（医務員）にて行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行い、紛失等に関して、主催者は一切の責任を負わない。
- (3) リレー競技については、同一色のユニフォームを着用すること。
- (4) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないよう注意すること。
- (5) プログラム正誤表（袋の中にある）は出場種目のある日の午前8時30分までに競技者係へそれぞれ提出すること。
- (6) 携帯電話、その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止する。
- (7) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止し、撮影禁止区域については表示する。（例えば、トラック種目スタート時の前方・後方からの撮影や走幅跳砂場正面からの撮影など）また、競技場内で撮影した全ての写真・動画を確認させてもらう場合がある。
- (8) ゴミ箱は設置されていないので、ゴミは必ず持ち帰ること。特に使用したマスクは必ず各自で処理すること。